

第16回 東区民ソフトバレーボール大会 競技細則

- 1 試合は総当たりリーグ戦及び変則リーグ戦で行い、参加チーム数により順位決定戦や順位決定リーグ戦を併用する(都合により変更する場合もある)
- 2 試合は、15点先取3セットマッチとし、2セット先取したチームを勝利とする。但し、第3セット目は促進ルールを適用する。第3セットのサーブ及びコートの選択は、第3セットの前のトスにより勝ったチームの選択により決定する。隣のコートへボールが入った場合はアウトボールとする。なお、参加チーム数により変更する場合がある。
- 3 総当たりリーグ戦の場合、勝敗は勝点制とする。①勝3点、負0点。②同位の場合は i 直接対決での勝敗・ii 得セット率・iii 得失点差(2チーム時)・iv 各チーム代表3人によるジャンケンの順に順位を決定する。変則リーグ戦の場合も、同様に勝敗は勝点制とするが、①勝3点、負0点。②同位の場合は i 得セット率・ii 得失点差(2チーム時)・iii 各チーム代表3人によるジャンケンの順に順位を決定する。
総当たりリーグ戦のみで、各部門の順位が確定しない場合は、追加で順位決定戦や順位決定リーグ戦を行い順位を確定する。この場合のリーグ戦における勝敗は、総当たりリーグと同じ勝点制により順位を決定する。
- 4 シートオーダー表を使用する。
- 5 主審、副審、線審及びスコアラーは指定の者及びチームとしてプログラムに掲載する。
- 6 練習時間は、最初の試合のみ2分間とし、以後の試合の練習時間はなしとする。
- 7 各セットの休憩時間は1分間とする。
- 8 休憩のタイムアウトは1セット2回まで、1回30秒とする。
- 9 競技者の選手交代は、いつでも何回でも自由に交代できる。
- 10 試合中のケガについては1セットにつき5分間認める。
- 11 アピールは、そのチームのキャプテンに限る。
また、監督及びキャプテンはタイムと選手交代が出来る。
なお、監督は監督章を、キャプテンはキャプテン章を付ける。
- 12 本大会のルールは諸般のルールに優先する。
- 13 その他の事項については日本ソフトバレーボール協会2025年度版競技規則に従う事とする。
- 14 大会中における事故等による怪我及び疾病等については、応急処置はしますが、主催者は以後の責任を負いません。